

帆檣成林

—はんしょうせいりん—

新潟市歴史博物館
博物館ニュース
vol.2

「帆檣成林」とは？

帆柱が林のように多く立つ様子を表した語。
人が多く出入りする活気ある「みなと」を
イメージさせる言葉です。

CONTENTS

- ◆特集1 ミュージアムシアター誕生物語 P.2・3
- ◆特集2 企画展「川村修就とゆらぐ幕府支配」 P.4
- 常設展示室から 「初代萬代橋模型」 P.5
- おすすめの一冊 『前方後円墳の研究』 P.5
- みなとびあ研究notes 蒲原平野の地形条件と村の立地 P.6
- 館長日記 「古墳時代の蒲原のクニのランドマーク」 P.7
- 収蔵資料紹介 【新潟大火映像フィルム】 P.7
- みなとびあの人・人 No.2 企画普及課 P.8



新潟市歴史博物館
博物館ニュース
帆檣成林
Vol.2

新潟市歴史博物館の催し物 2005年3月～6月		
企画展	企画展関連イベント	体験プログラム
3月 3.5 人間国宝・天田昭次 鉄と日本刀展 3.27	27日 鉄をつくってみよう	19・20日 勾玉作り
4月 4.23 川村修就とゆらぐ幕府支配 5.29	1・8・15・22日 川村文書を読み解いてみよう 17～29日 「ニイガタ JUST NOW」展示会	2・3日 縄文BOX体験 9・10日 明かりをつくってみよう 24日 歴史探検 30日 土笛作り
5月 5.29	3日 土笛作り 8日 さらさら砂絵 14日 博物館クイズラリー	
6月 6.18 現代工芸美術展 6.26	6月3日～6月9日 館内燻蒸期間により休館	19日 染色体験

※詳細につきましては、博物館までお問い合わせ下さい。

イベント 【川村文書を読み解いてみよう】

当館学芸員が代表的な川村文書を解説し、それに関わる歴史を解説します。
5月1日(日)・5月8日(日)・5月15日(日)・5月22日(日)【自由参加・無料】
●会場／博物館本館セミナー室 ●時間／15:00～16:30

人間国宝・天田昭次 鉄と日本刀展 開催中

平成17年3月5日(土)～27日(日)
※休館日／3月7日(月)・14日(月)・22日(火)
観覧料／一般 700円(団体560円) 高校生・大学生 500円(同400円) 小・中学生 200円(同160円)
※土・日曜・祝日は小・中学生は無料

●問い合わせ先 新潟市歴史博物館 〒951-8013 新潟市柳島町2-10 TEL.025-225-6111 FAX.025-225-6130
URL: http://www.nchm.jp e-mail:museum@nchm.jp

募集中!!

今の新潟らしい写真とその解説

あなたの綴る「ニイガタ JUST NOW」展示会への出品作品を募集します。
川村修就が江戸の新潟を伝え遺してくれた「あまのてぶり」。その「あまのてぶり」にならって、絵巻「ニイガタ JUST NOW」を作ってみませんか。
現在の新潟市域の人々の、新潟らしい暮らしや姿を写した写真と、それにまつわる300字程度の文章をお寄せ下さい。
応募作品は、5月17日(火)～29日(日)に博物館本館に展示します。
応募は1人1作品、作品はお返ししません。
締切り：5月10日(火)必着
応募先：新潟市歴史博物館絵巻がかり
※応募多数の場合は博物館で展示作品を選んで展示します。
※応募いただいた方には、「川村修就とゆらぐ幕府支配」展の招待券を差し上げます。

みなとびあの人・人

No.2 企画普及課 知野学

博物館の中には、学芸課と企画普及課という2つの課があります。企画普及課の仕事は、団体予約の受付、会議室の貸出、観覧料の収納、施設の維持管理など、日々の運営に関わるものと、広報宣伝・企画などの施設普及に関するものがあります。新しい施設なので、開館してから改めて気がつく問題もたくさんありました。
まもなく開館1年になりますが、この恵まれたロケーションと魅力のある館の事業を多くの人に知ってもらい、「また行ってみたいかな」と思われる施設になってほしいと思います。

編集後記

先日、柏崎市で国内最大級の古代の製鉄遺跡群についての講演会を聞いてきました。この遺跡群は、すでに一部が破壊された上に産業団地開発によって保存が難しい状況にあるそうです。3月5日より開催されている「鉄と日本刀展」(～3月27日)で展示される刀剣も、このような古代の製鉄遺跡群に源流をたどることができます。地域の歴史にとどまらず、日本文化を理解する重要な鍵となるこの遺跡群がどうしたら保存できるか、自分なりに考えたいと思った一日でした。(土田)